

2年生へバトンタッチ 生徒会

生徒会長選挙、9日から選挙活動へ 14日投票

12月9日から生徒会長選挙の活動が始まり、14日には立会演説会・投票が行われます。

3年生から2年生へのバトンタッチに当たり、3年生生徒会役員の皆さんから一言いただきました。

副会長 長岡 遥圭さん

生徒会活動で学んだことは、「先のことを考えて、今、行動することが大切」ということです。行事や集会でも準備の段階から協力し合いながら頑張ることができました。全校の先頭に立つのは貴重な経験だったと思います。

事務局員 齋藤 うた さん

行事のたびに、皆さんに楽しんでもらえるような企画を考えるのが大変でした。コロナで制限されたことも多かったのですが、どれも成功を収めることができ、やりがいを感じました。

1、2年生にも、よりよい学校生活を目指して頑張ってもらいたいです。

会長 坂本 耀さん

今年一年「生徒会長」を務め、貴重な体験をさせていただきました。活動は、「目安箱」「プリントアンケートの発行」に力を入れて頑張りました。また、行事の企画・運営に際しては、全校の皆さんの協力もあり、無事、終わることができました。

一年間、ありがとうございました。

事務局長 中村 颯太さん

生徒会執行部は、全校生徒の見本となるので、難しいこともありましたが、周りのみんなのおかげで、何とかやり遂げることができました。学校祭の運営で「ようちやんねる」を作ったのが印象に残っています。

衛生委員長 伊藤 士竜さん

衛生委員長として、集会や学校祭の準備だけではなく、日常の活動も協力して頑張ることができました。

今年からの取組である「残食0チャレンジ」も放送での呼びかけや結果発表などで浸透してきているので引き続きよろしくお願ひします。

全校委員長 武田 響心さん

6人という少ない人数で、生徒会執行部のサポートや激励会の進行など頑張ることができました。

東京オリンピック、ヨルダン選手団への応援メッセージも選手のことを考えて書くことができました。

応援団長 堀内 心さん

応援団長として「恥ずかしい」という気持ちを忘れ全力で応援することができ、自分に自信をもつことができました。一つ一つの応援に思いを込めて活動することができ、今「応援団長を引き受けてよかったな」と思っています。

生活委員長 朝場 敬人さん

委員長になったときは、自分で大丈夫かな、と不安になりましたが、副委員長や3年生、全校の皆さんの支えがあり、自分なりに自信をもって行うことができました。

新しい生活委員長も、自信をもって頑張ってもらいたいです。

文化委員長 長岡 剛志さん

委員長になったときは、指示を伝えられず焦ったり、意見をまとめることができず不安になりました。しかし、先生方や友達のアドバイスで、何を優先して考えたり、行動したりするべきかを判断することができるようになりました。自分はまだまだ未熟ですので、これからも直せる部分は直して、成長し続けたいです。

JRC委員長 伊藤 莉李さん

日常活動、運動会、学校祭など、委員会のみんながとても熱心に頑張ることができ、よかったと思います。最初、話し合いを進めるときに緊張して上手に進めることができませんでしたが、やっていくうちに積極的に進めることができるようになりました。一年間、ありがとうございました。



校訓…共に羽ばたく
わが東中

能代市立能代東中学校

校報第13号

令和3年12月6日

文責：平澤秀樹



バスケットボール 1回戦惜敗 ～ 全県秋季大会

バスケットボール全県秋季大会は、11月27日、CNAアリーナで行われました。能代東中は、1回戦、秋田東中と対戦し、40-71で惜敗しました。序盤からリードを許す展開でした。第3クォーターで、酒巻裡娃奈さん、工藤心春さんの3点シュートが決まり始め、「さあ、これから」というときに5ファールでの退場、負傷による退場が相次ぎ、最後は4人で戦うという、壮絶な試合となりました。

新しい公立高校入学者選抜制度の概要 ～令和5年度入学者（現・中2）から 入試制度が変わります。～

令和5年度入学者から、秋田県公立高校の選抜方法が変わります。すでに、学年部報等でご承知とは思いますが、現中3が受検する「これまでの入試」と現中2と中1が受検する「新しい入試」について、概要を比較してみました。

	これまでの入試	新しい入試
1 選抜の種類	<ul style="list-style-type: none"> 前期入試を1月下旬に実施。 一般選抜を3月上旬に実施。 二次募集を3月下旬に実施。（募集人員に充たない場合） 	<ul style="list-style-type: none"> 一次募集として、「特色選抜」と「一般選抜」を3月上旬の同一日に実施。 「特色選抜」志願者は同一の高等学校において「一般選抜」との併願が可能。 二次募集はこれまでどおり実施。
2 募集人員の割合	<ul style="list-style-type: none"> 前期選抜の募集人員は、各学科の募集定員の10～30%の範囲で各高校が設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 特色選抜の募集人員は、各学科の募集人員の10～50%の範囲で各高校が設定する。
3 学力検査	<ul style="list-style-type: none"> 前期選抜は3教科（国、数、英） 一般選抜は5教科（国、数、英、理、社） 定時制一般選抜は3教科（国、数、英） 	<ul style="list-style-type: none"> 特色選抜、一般選抜ともに5教科の<u>同一問題</u>で実施。 定時制においても<u>5教科</u>で実施。
4 調査書の調整 評定値	<ul style="list-style-type: none"> 中学校3年次の評定を基に算出。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校1～3年次の評定を基に算出。 ※1
5 その他	<ul style="list-style-type: none"> 前期選抜における出願の条件、配点等を公表。 	<ul style="list-style-type: none"> 各高校が求める生徒像、選抜方法等を公表する。 ※2

※1 評定について

右表のように、国語、社会、数学、理科、英語、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の第1学年から第3学年までの評定を点数化する。その際、入学者選抜において、学力検査を課さない音楽、美術、保健体育、技術・家庭については、評定を2倍して合算し、評定の合計を195点満点とする。現行は、中3の評定のみ。

※2 求める生徒像、選抜方法等の公表について

令和5年度秋田県公立高等学校入学者選抜実施要項において公表される。

教科	評定			
	1年	2年	3年	合計
国語	5	5	5	15
社会	5	5	5	15
数学	5	5	5	15
理科	5	5	5	15
英語	5	5	5	15
音楽	10	10	10	30
美術	10	10	10	30
保健体育	10	10	10	30
技術・家庭	10	10	10	30
合計	65	65	65	195